

オオサンショウウオの生息する広島県管理河川における 河川工事に関する検討会（第2回）の開催について

1 要旨・目的

本県が管理する河川の工事における国の特別天然記念物であるオオサンショウウオ（絶滅危惧Ⅱ類※）の配慮方針について、多角的な観点から学識経験者の意見を伺うため、第2回検討会を開催する。

※絶滅危惧Ⅱ類…絶滅の危険が増大している種

2 現状・背景

国の特別天然記念物であるオオサンショウウオは、生息・生育・繁殖可能性が高いと判断される場合には種に応じた環境保全を行うこととされており、本県では現地で生息を確認した河川工事において専用のブロックの採用等により配慮してきたところである。

昨年度、オオサンショウウオが確認されている本県が管理する河川での工事において、オオサンショウウオの専門家より「生息に適さない河川工事が行われている」との指摘がなされている。

3 検討会の概要

(1) 対象者

県民

(2) 内容

ア 開催日等

開催日時	場所
令和8年2月5日（木） 13：30～16：00	TKP ガーデンシティ 広島駅前大橋ホール6 A

イ 議事

- ・第1回検討会の意見に対する事務局の提案
- ・オオサンショウウオに配慮した工法、調査のあり方等

ウ 検討会構成員（◎…会長）

氏名	意見を求める分野	役職
阿部 勝彦	文化財	広島県文化財保護審議会委員 広島市安佐動物公園 園長
内田 龍彦	河川工学	広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授
◎ 河合 幸一郎	生物環境	広島大学 名誉教授
金田一 智規	環境保全工学	広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授
清水 則雄	オオサンショウウオ	広島大学オオサンショウウオ保全対策 プロジェクト研究センター長
内藤 順一	希少生物	レッドデータブックひろしま爬虫類・両生類調査部会 調査委員代表

(3) スケジュール

検討会を3回開催し、配慮方針を策定する。

開催回	検討内容
第1回 (R7. 11. 13)	オオサンショウウオの生息地の特定及び配慮のあり方
第2回 (R8. 2. 5)	オオサンショウウオに配慮した工法、調査のあり方等
第3回	配慮方針（案）

(4) 予算（補助事業・単県）

—

4 今後の対応

検討会で多角的な観点から意見をいただき、3月末に配慮方針の策定を目指す。

【参考】第1回検討会の内容（令和7年11月13日開催）

内 説 容 明	○オオサンショウウオの生息地の特定及び配慮のあり方 ・生息状況等を踏まえた配慮の範囲
主 な 意 見	・配慮する範囲について、重要性（繁殖域・生息域）による重みづけが必要であるということについて了解が得られた。 ・絶滅しないような幅を持たせた範囲設定としたうえで、公共事業や住民理解などの観点からの検討を行うこととの意見があった。 ・生息に適した範囲であっても生息情報がない地域については、情報のアップデートが必要との意見があった。